

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公開番号】特開 2018-126296 (P2018-126296A)

【公開日】平成 30 年 8 月 16 日 (2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報 2018-031

【出願番号】特願 2017-20917 (P2017-20917)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 8 日 (2020.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、  
遊技に関する演出が実行可能な演出実行手段と、  
発光手段と、

光が端面から入射されることにより演出表示を行うことが可能な導光板と、  
前記発光手段から入射された光を前記導光板に向けて出射する導光部材と、  
前記導光部材が取付けられる被取付部と、  
を備え、

前記発光手段は、第 1 発光手段と該第 1 発光手段と異なる第 2 発光手段とを有し、

前記導光板は、前記第 1 発光手段から光が入射されることにより第 1 演出表示を表示可能であり、前記第 2 発光手段から光が入射されることにより前記第 1 演出表示と異なる第 2 演出表示を表示可能であり、

前記演出実行手段は、前記導光板による演出を複数のタイミングで実行可能であり、  
前記導光部材には、前記被取付部に取付けられた状態において該被取付部に設けられた挿入部に挿入可能な位置決め用ボスが突出して設けられており、  
前記導光板による演出の実行タイミングにより期待度が異なることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

前記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、  
遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、  
遊技に関する演出を実行可能な演出制御手段（例えば、演出制御用 CPU 120 など）と、

発光手段（例えば、第 1 導光板 LED 512, 517、第 2 導光板 LED 522）と、  
光が端面（例えば、上端面 511A, 521A、左端面 511B）から入射されること

により演出表示（発光表示）を行うことが可能な導光板（例えば、第１導光板５１１、第２導光板５２１）と、

前記発光手段から入射された光を前記導光板に向けて出射する導光部材（例えば、第１集光レンズ５１４、第２集光レンズ５２４）と、

前記導光部材が取付けられる被取付部（例えば、前保持部材５０３の背面及び第１導光板ＬＥＤ基板５１３の背面、第２導光板ＬＥＤ基板５２３の前面及び後保持部材５０５の前面）と、

を備え、

前記発光手段は、第１発光手段と該第１発光手段と異なる第２発光手段とを有し、

前記導光板は、前記第１発光手段から光が入射されることにより第１演出表示を表示可能であり、前記第２発光手段から光が入射されることにより前記第１演出表示と異なる第２演出表示を表示可能であり、

前記演出実行手段は、前記導光板による演出を複数のタイミング（例えば、１の変動表示が開始した時、１の変動表示においてリーチ状態が発生する前、１の変動表示においてリーチ状態が発生した時、１の変動表示においてリーチ状態が発生した後、大当り遊技状態中など）で実行可能であり、

前記導光部材には、前記被取付部に取り付けられた状態において該被取付部に設けられた挿入部（例えば、位置決め孔５３０，５９４、位置決め孔５９５，５８０）に挿入可能な位置決め用ボス（例えば、位置決め用ボス５９３Ｆ，５９３Ｂ）が突出して設けられており（図９、図１０、図２１（Ａ））、

前記導光板による演出の実行タイミングにより期待度が異なる

ことを特徴としている。

この特徴によれば、位置決め用ボスを挿入部に挿入することで導光部材の取付位置が決定されるため、導光部材を好適に取付けることができる。また、導光板による演出の実行タイミングに遊技者の注意を集めることができれば、導光板による演出の演出効果を向上でき、導光板による演出に基づく興趣をより向上させることができる。